

〔改訂〕「統合型リゾート（IR）に関する基本的な考え方」骨子の概要

1. 論点整理の考え方、参考とした意見の記載、今後の検討

<論点整理の考え方>

- IRを取り巻く環境の大きな変化
- 市町村、経済団体、観光関係事業者、平成30年度の有識者懇談会の構成員からの意見
- 経済効果の明確化やギャンブル等依存症、事業の継続性への懸念など、メリット・デメリット両面について、平成31年4月策定時の構成に沿って整理。

<論点整理で参考とした意見などの記載>

- 論点の整理に当たって参考とした、市町村、経済団体、有識者等の意見などを、「改訂論点」と併せて「市町村、有識者、事業者等の意見」として掲載。

<論点に係る今後の検討>

- 今回整理した論点については、今後、新たに「IRに関する有識者懇談会」を設置し、議論を深めていく。

2. 「基本的な考え方」の改訂に向けた論点

(1) IR導入の意義

- 初めての区域整備計画の認定結果及び先行自治体の取組結果、IR制度の運用状況
- コロナ禍以降の海外IRの動向と観光、MICEの需要動向
- 次期「観光のくまびくろ行動計画」における課題（季節偏在、地域偏在など構造的課題への対応）
- 道内市町村のIRに関する関心の内容

(2) 北海道IRの基本コンセプト（機能・施設）

① MICE施設	○ 会議場・展示場の需要想定と規模要件のあり方 ○ 稼働率を高めるMICE施設の多様な活用方策
② 魅力増進施設	○ 北海道ならではの各地域に根ざした魅力を伝える機能
③ 送客機能	○ IRの効果を生道に波及させる送客機能の充実 ○ 全国への送客機能と合わせた道外からの誘客
④ 宿泊施設	○ 富裕層向けをはじめ宿泊施設の需要想定と規模要件のあり方
⑤ その他の施設	○ 北海道の魅力を活かし、IRの各施設の稼働率を引き上げ、国内客、家族、多世代が楽しむことができるこれまでにない集客施設
⑥ IR施設総体、事業運営	○ IR施設の事業運営を通じた効果の明確化 ○ 大都市圏とは条件が異なる地方における継続的な事業運営のあり方 ○ 地方の特性が発揮できる施設要件の緩和などのIR整備法の施行状況

(3) 優先候補地

- 各施設の機能を最大限に活かした北海道らしいIRを実現に資する候補地の条件
- 環境への配慮、インフラ整備、立地自治体のまちづくり等との整合
- 苫小牧市の取組状況

(4) 社会的影響対策の方向性

- ギャンブル等依存症の現状と対策（ギャンブルのオンライン化等）

3. 〔改訂〕「統合型リゾート（IR）に関する基本的な考え方」の構成

I. はじめに

- ・ 経緯等

II. 導入の意義

- ・ IR制度
- ・ IRを取り巻く環境の変化
- ・ 北海道におけるIRに関する認識

III. 北海道らしいIRコンセプト

- ・ IRの事業運営、経済効果の方向性など北海道IRのあり方
- ・ 整備する施設の機能、規模
- ・ IRにおけるカジノと関連する社会的影響に対する対応
- ・ 立地（候補地）の条件

IV. まとめ

- ・ IRに関する対応方針